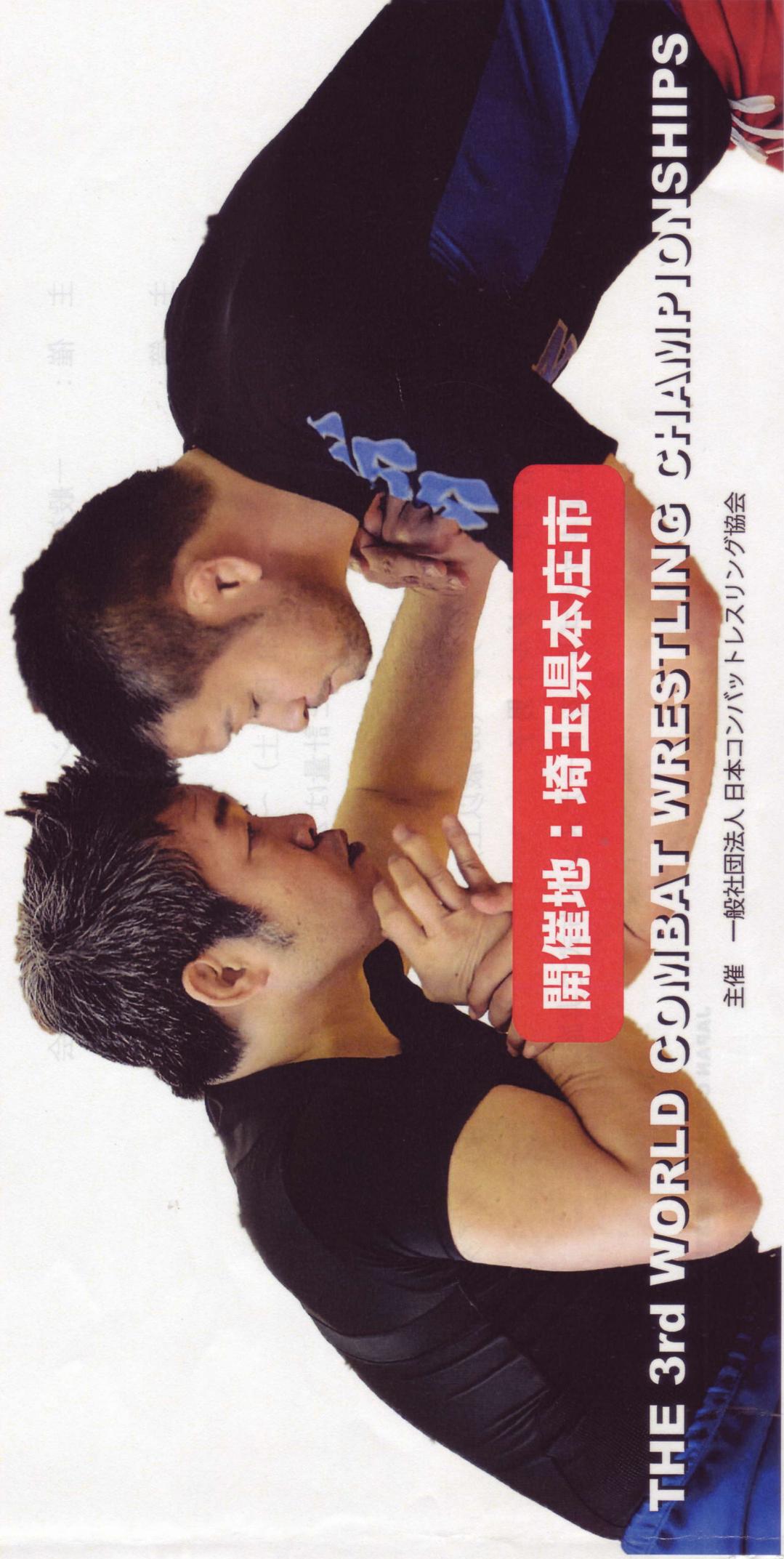


第3回 世界コンバットレスリング選手権大会

概要

2017年10月21日(土)～22日(日) ※予定



開催地：埼玉県本庄市

THE 3rd WORLD COMBAT WRESTLING CHAMPIONSHIPS

主催 一般社団法人日本コンバットレスリング協会

大会開催要項

大会名： (和文) 第3回 世界コンバットレスリング選手権大会
(英文) THE 3rd WORLD COMBAT WRESTLING CHAMPIONSHIPS

主催： 一般社団法人 日本コンバットレスリング協会

主管： 大会実行委員会

日程： 2017年10月21日(土)～22日(日)

※予定：会場設営と計量は20日から実施

内容： 国際アマチュアスポーツ大会
第1日 ベテラン (35歳以上) / ユース (18歳以下) / アダルト女子
第2日 アダルト男子
上記4カテゴリーをトーナメント方式で実施

世界選手権開催について

日本発祥の格闘技「コンバットレスリング」。

第1回の世界選手権は、2015年にブルガリア・ヴァルナで開催されました。

第2回大会はハンガリー・タマシにて開催。その会期中に国際連盟会長及び各大陸（アメリカ/ヨーロッパ/アジア）代表者のミーティングが行われ、2017年に実施される第3回世界選手権の開催地が、埼玉県本庄市に正式決定いたしました。



当世界選手権は、2016年8月に本庄市の国際スポーツ大会として実施した「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」に続く国際大会です。

コンバットレスリング発祥所縁の地（創設者・木口宣昭氏は現本庄市の児玉町育ち）での開催に、各国からも注目が集まっております。

コンバットレスリングとは？

コンバットレスリングとは？

1994年に「発足（プレ）大会」、1995年に「第1回全日本コンバットレスリング選手権大会」が開催され、1997年からは毎年「全日本オープン」も実施。20年以上の歴史を持つ、日本発祥の格闘技。

創設者は、レスリングの全日本王者でもあった、木口道場主宰の、木口宣昭氏。総合格闘技の老舗である修斗（当時はシューティング）の発展にも関わった氏が現役時代より理想としていた「制約のない組技総合格闘技」を具現化したものとして誕生しました。

「レスリング」の名の通り、テイクダウンして対戦相手を制圧することが目標ですが、オリンピックスタイルレスリングのようなフォールはなく、関節技・絞め技・圧迫技で勝敗を決する（投げ技や抑え込み、ポジションなどによるポイント加算もある）。ただし、一切の打撃は禁止されています。

現在様々な形態で行われる、いわゆる「サブミッションレスリング」の草分けと言える存在。

年に1回開かれる全日本選手権へは、プロ格闘家やアマチュア強豪選手の参加もあり、常にハイレベルな闘いが繰り広げられました。このことからわかるように、「コンバットレスリング」は、競技者を抱える競技というよりも、強者を決める“場”としての側面が強いと言えます。



全日本コンバットレスリング選手権大会

JAPAN COMBAT WRESTLING ASSOCIATION

コンバットレスリングの現在

第1回全日本選手権開催から20年を迎えた2015年。

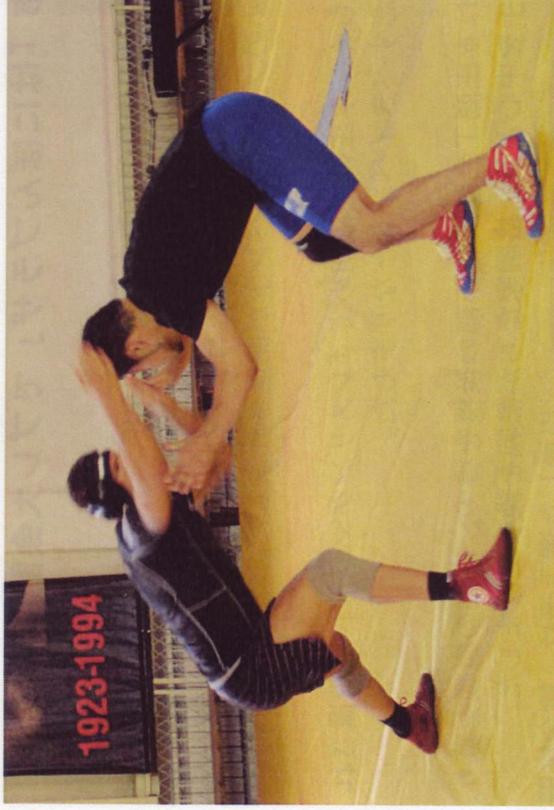
初の「世界選手権」がブルガリア共和国ヴァルナ市で開催されました。これは、2014年にブルガリア出身のイベイロ・イワノフ氏（現国際コンバットレスリング協会会長）の提唱で企画されたものです。

大会には13カ国からエントリヤーがあり（直前の棄権もあり実質参加は10カ国）、約50名の選手の参加がありました。オリンピックや、その他の国際大会に比べれば正直寂しい数字ではありますが。しかしながら、これまでに日本国内で行われていなかった競技=コンバットレスリングが、世界選手権実施の提唱からわずか1年でここまでの賛同者を世界から得たと考えれば、立派な数字であることは疑いの余地がありません。

この記念すべき大会には、日本から選手5名（うち1名がユース）とレフェリーが参加。

3名優勝、1名準優勝という好成績を収めました。これは、開催地ブルガリアに次ぐ結果でした。

世界選手権を期に、欧米では（英国、米国、イタリアなど）国内選手権が開催され、2016年にはヨーロッパ選手権も行われました。宗家国である日本は、8月に埼玉県本庄市で「アジア選手権」開催同市として初の「国際スポーツ大会」となりました。10月にはハンガリーで第2回世界選手権が開催され、その会期中に、2017年に行う「世界選手権開催地」に本庄市が正式に選ばれました。



本庄市「はにぼんプラザ」でプレ大会開催！

アジア選手権開催が決まった2016年。

1月31日（日）に、本庄市内の複合施設「はにぼんプラザ」で「コンバットレスリング」とは、どのような競技なのかを紹介するためのプレ大会イベントが開催されました。

おそらく、本庄の地に初めて「レスリングマット」が設置された、記念すべきイベントとなりました。

大会は本庄商工会議所青年部の後援を得て、市民の観戦を募り、地元選手を中心とした格闘家たちが熱戦を繰り広げました。

出場した選手達は、総合格闘技、ブラジリアン柔術、サンボ、空手などのバックボーンをもつアマチュア選手たち。

中には日本代表として国際大会に出場した経験のあるファイターもいました。

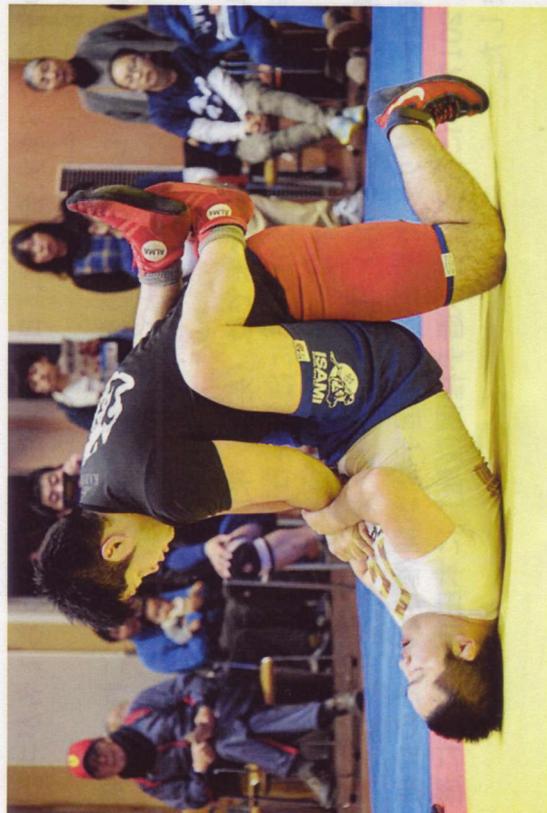
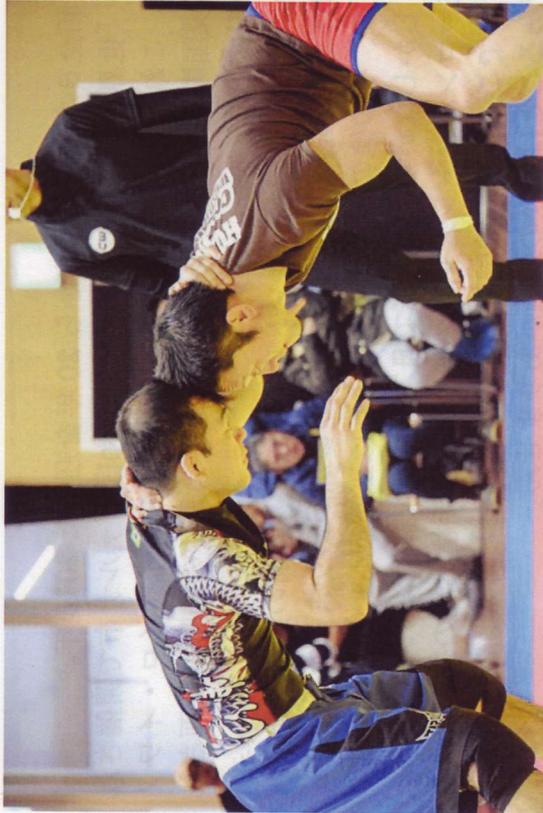
当日は、吉田信解本庄市長、グローバルソフトウェア会長でもある狩野輝昭本庄商工会議所副会頭（当時）も来場し、選手・役員に激励の御挨拶をいただきました



JAPAN COMBAT WRESTLING ASSOCIATION

コンバットレスリングとは？

本庄のでんれすにえいへかく



JAPAN COMBAT WRESTLING ASSOCIATION

「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」各メディアで紹介された

本庄の「地場格闘技」に

話題 スポット

【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング

本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング

話題 スポット



きょう市内でアジア大会

【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング



「コンバットレスリング」競技広めたい

【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング

本庄レスリングのまちに

コンバットレスリングアジア選手権

【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング



【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング

14日市初の国際スポーツ大会

【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング

本庄で初のアジア大会



コンバットレスリング

【本庄】地場格闘技の発展を促す「第1回アジアコンバットレスリング選手権大会」が、本庄市で初のアジア大会を開催した。約60年前に競技を創設した国際コンバットレスリング協会の関係者らが、伊勢崎市役所を訪れ、競技を紹介し、同市でも競技を広めていきたいと熱意を語った上写真。コンバットレスリング

◀▼埼玉新聞一面 (2016/8/14)

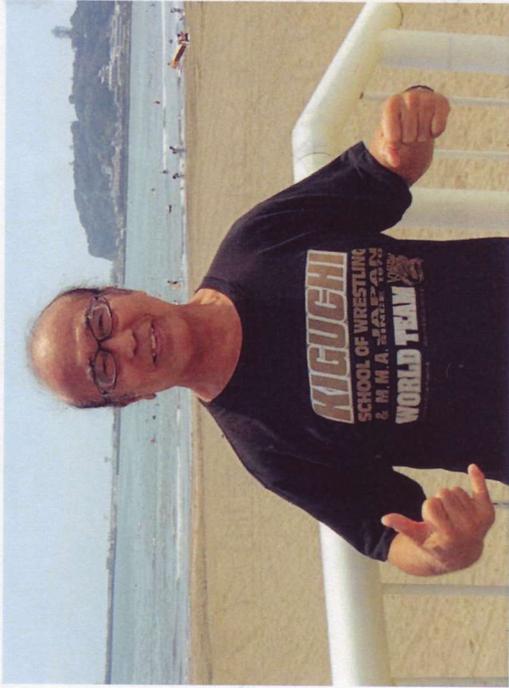


▲上毛新聞/中面 (2016/8/16)

▲埼玉よみうり (2016/8/26)

資 料

- アジア選手権参加数 61 選手 (74 エントリリー)
- 参加国 日本／韓国／ウズベキスタン／モンゴル／ (審判のみ参加) イラン
＜オープン枠→ブラジル／アメリカ合衆国＞
- 第1回世界大会参加数 約50 選手 (アダルト男女／ユースを実施)
- 参加国 アメリカ合衆国／英国／イタリア／スペイン／ブルガリア／セルビア
／マルタ／ハンガリー／マケドニア／カナダ／日本
- 第2回世界大会参加数 約80 選手 (アダルト男女／ベテラン男子／ユース男子を実施)
- 参加国 日本／アメリカ合衆国／ブルガリア／セルビア／ハンガリー／ブラジル
／ボスニア／ルーマニア／カナダ
- 本庄大会予想参加国 約80 選手・10 カ国程度
- 日本／韓国／ブラジル／ブルガリア／アメリカ合衆国／ハンガリー
／カナダ／メキシコ／モンゴル／ウズベキスタン／イラン／等



コンバットレスリング創設者

日本コンバットレスリング協会会長
国際コンバットレスリング連盟名誉会長

1944年、旧満州に生まれる。終戦後、祖父（後の木口ウオッチセインターを経営）が住んでいた関係で、埼玉県児玉町（現・本庄市）で幼少期を過ごす。

法政大学時代より、レスリング・グレコローママンススタイルの選手として活躍。全日本学生選手権、全米選手権で優勝。世界選手権でも5位入賞を果たす。

1970年には、日本初となるレスリングのクラブチーム「木口道場」を開設。山本美優、聖子姉妹（レスリング世界王者）や総合格闘技の五味隆典選手らを育てる。1995年に、レスリングに絞め技と関節技を加えた「コンバットレスリング」を考案し、普及に努める。

公益財団法人日本レスリング協会総合格闘技委員会委員長、総合格闘技団体パンクラスのアドバイザリーボードチアーマンも務める。



大会実行委員長

日本コンバットレスリング協会理事
国際コンバットレスリング連盟審判委員長

1969年、埼玉県本庄市に生まれる。本庄西小学校入学（卒業は南小学校）、南中学校を卒業、埼玉県立本庄高等学校に進学。

卒業後は日本大学芸術学部に進学し、ソニーミュージックグループに入社。社会人時代にサンボを始め、後にコンバットレスリングに出会う。2015年に開催された「第1回世界コンバットレスリング選手権大会」では、大会審判長を務める。

現在は編集者の傍ら格闘技に関わる。

2000年サンボパンアメリカン選手権優勝。1998年第1回全日本コンバットレスリングオープン選手権準優勝。

一般社団法人日本ジュニアサンボ連盟会長、一般社団法人日本サンボ連盟副会長。公益財団法人日本レスリング協会スポーツ環境委員会委員、日本格闘競技連盟広報委員会副委員長。

国際コンバットレスリング連盟 (組織概要)

(2017年2月現在)

名誉会長 木口 宣昭(日本)
 会長 イベイロ・イワノフ(ブルガリア)

各専門委員会

加盟国／各エリアの主なスタッフ

北米 ステーキブン・コペファー (米国)	西ヨーロッパ アダム・A・リンドトップ (英国)	東ヨーロッパ カーメン・ゲオルギエフ (ブルガリア)	アジア 吉澤 昌(国際審判長) (日本)
----------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------

アメリカ合衆国
カナダ
大英帝国
イタリア
スペイン
ベラルーシ

ブルガリア
セルビア
マルタ
ハンガリー
マケドニア
日本
オーストラリア
韓国
インド
パキスタン

※日本コンバットレスリング協会は、公益財団法人日本レスリング協会の参加団体「日本格闘競技連盟」に加盟しております。

一般社団法人 日本コンバットレスリング協会



[本部]

埼玉県本庄市小島南 1-10-31

[東京事務局]

東京都新宿区百人町 2-22-16-214号

[連絡先]

理事長 吉澤 昌 (Masashi YOSHIZAWA)

info@mca.jp / 090-3348-6738

Instagram

www.instagram.com/combat_wrestling_japan

Facebook

www.facebook.com/JAPANGW/

